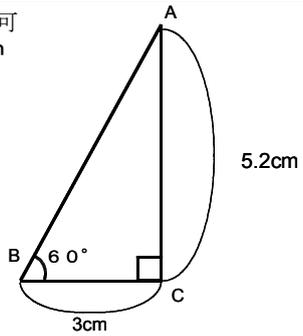


平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第6学年 算数 解答一覧 No.1

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況					
					成績処理システムでは「1」と入力すること	成績処理システムでは「2」と入力すること					
1	(1)		①	技能		$\frac{24}{35}$					
	(2)		②	技能		$1\frac{1}{4}$ ( $\frac{5}{4}$ も可)					
	(3)		③	技能		$\frac{1}{6}$					
2	(1)		④	技能		7500 km <sup>2</sup>					
	(2)		⑤	技能		250 mL					
	(3)		⑥	知識		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>80</td> <td><math>\frac{3}{5}</math></td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>エ</td> <td>ア</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(完答)</p>	80	$\frac{3}{5}$	□	イ	エ
80	$\frac{3}{5}$	□									
イ	エ	ア									
3	(1)		⑦	考え		エ					
	(2)		⑧	技能	正しく立式している。 $\cdot 3 \times 3 \times 3.14 \times 6$ ( $3.14 \times 3 \times 3 \times 6$ 等も可) $\cdot 3 \times 3 \times 3.14 = ( )$ ( ) $\times 6 = ( )$ ※計算はまちがっているが立式はできている。	(正答例1) $3 \times 3 \times 3.14 \times 6 = 169.56$ 答え <u>169.56</u> cm <sup>3</sup> (正答例2) $3 \times 3 \times 3.14 = 28.26$ $28.26 \times 6 = 169.56$ 答え <u>169.56</u> cm <sup>3</sup>					
<b>【授業改善の視点】</b> (底面積) × (高さ) という柱体の体積を求める公式について理解を深めるために、底面の図形が平行移動することによって構成される立体とみるような活動を取り入れる。											
4	(1)		⑨	知識		ア					
	(2)		⑩	考え		ウ					
5	(1)		⑪	関心		( 180 ) + ( 360 ) = 540 または、( 360 ) + ( 180 ) = 540 ※「°」を書いていても可					
	(2)		⑫	考え	○図形の「名前」を書かずに、式と計算結果のみ書いている。 $\cdot 45 \times 2 + 90 + 90 \times 2 = 360$ $\cdot 45 + 45 + 90 + 90 + 90 = 360$ ○図形の「名前」とそれぞれの角の大きさのみ書いている。 $\cdot$ 直角三角形の3つの角が45°, 45°, 90°で、長方形の2つの角が90°, 90°だから。	図形の「名前」と「角の大きさ」を明らかにして360°になることを書いている。 (正答例) 点㊦のまわりには、3つの直角二等辺三角形と2つの長方形がしきつめられています。直角二等辺三角形の角の大きさは、45°が2つと90°が1つ、長方形の1つの角の大きさは、90°なので、 $45 \times 2 + 90 + 90 \times 2 = 360$ となり、360°です。 ※式は、 $45 + 45 + 90 + 90 + 90 = 360$ でも可					
6	(1)		⑬	技能		77 冊					
	(2)		⑭	考え	(正答の条件) ①りかさんの考えは(正しくない)を選んでいる。 ②熊本小学校の「科学の本の数」と「歴史の本と科学の本の数の合計」の関係を表や比の値を使って表している。 ③熊本小学校の科学の本の数を求めている。 (正答例) りかさんの考えは(正しくない)。 熊本小学校の「科学の本の数」を□冊とすると $5 : 11 = \square : 132$ $\square = 5 \times 12$ $= 60$ 熊本小学校の科学の本の数は60冊なので正しくない。 ※正答の条件②の求め方は、正答例以外の方法でも可。	②を正しく書いている。					
					①, ②, ③を全て正しく書いている。						

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第6学年 算数 解答一覧 No. 2

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況	
					成績処理システムでは「1」と入力すること	成績処理システムでは「2」と入力すること	
7	(1)		⑮	考え	<p>(正答の条件)                      ①黒色のペンは1本で(たりない)を選んでいる。                      ②「くまモン」の形の面積を求める式を、比例の関係などを用いて表している。                      ③「くまモン」の形の面積を求めている。</p> <p>(正答例1)                      黒色のペンは1本で(たりない)。  <math>260 \div 208 = 1.25</math> だから、                      段ボール紙の重さは、「くまモン」の形の重さの1.25倍である。                      段ボール紙の面積は、<math>90 \times 90 = 8100</math>で<math>8100 \text{ cm}^2</math>だから、  <math>8100 \div 1.25 = 6480</math>となるので、                      「くまモン」の形の面積は<math>6480 \text{ cm}^2</math>である。黒色のペンは、1本で<math>6000 \text{ cm}^2</math>しかぬれないので、たりない。</p> <p>(正答例2)                      黒色のペンは1本で(たりない)。  <math>208 \div 260 = 0.8</math> だから、                      「くまモン」の形の重さは、段ボール紙の重さの0.8倍である。                      段ボール紙の面積は<math>8100 \text{ cm}^2</math>だから、  <math>8100 \times 0.8 = 6480</math>となるので、                      「くまモン」の形の面積は<math>6480 \text{ cm}^2</math>である。黒色のペンは、1本で<math>6000 \text{ cm}^2</math>しかぬれないので、たりない。</p> <p>※正答の条件②の式は正答例1, 2以外の方法でも可。</p>	<p>②を正しく書いている。</p>	<p>①, ②, ③を全て正しく書いている。</p>
	(2)		⑯	関心		<p>同じ種類のペンの本数とその代金 など                      (ペンの本数と代金 などでも可)</p>	
8	(1)		⑰	技能		<p>以下の誤差までは可                      長さ：<math>\pm 0.2 \text{ cm}</math>                      角度：<math>\pm 1^\circ</math></p>  <p>※記号や長さはなくても可</p>	
	(2)		⑱	技能	<p>ACの実際の長さ(20.8m)まで求めている。</p> <p>縮図のACの長さを測ると5.2cmになる。                      三角形ABCは400分の1の縮図なので、  <math>5.2 \times 400 = 2080</math>  <math>2080 \text{ cm} = 20.8 \text{ m}</math></p> <p>※5.2は誤差<math>\pm 0.2 \text{ cm}</math>まで可                      ※20m~21.6mまで可</p>	<p>(正答例)                      縮図のACの長さを測ると5.2cmになる。                      三角形ABCは400分の1の縮図なので、  <math>5.2 \times 400 = 2080</math>  <math>2080 \text{ cm} = 20.8 \text{ m}</math>                      天主堂の高さは、ACの長さとたろうさんの目の高さを合わせるので、  <math>20.8 + 1.4 = 22.2</math></p> <p>答え 22.2 m</p> <p>※5.2は誤差<math>\pm 0.2 \text{ cm}</math>まで可                      ※答えの範囲は、21.4m~23mは可</p>	
9	(1)		⑲	知識		ア	
	(2)		⑳	考え	<p>「大きな円の面積」と「小さな円の面積の合計」を求める式を正しく書いている。</p>	<p>「大きな円の面積」と「小さな円の面積の合計」の関係は (ウ)</p> <p>「大きな円の面積」  <math>6 \times 6 \times 3.14 = 113.04</math>                      答え 113.04 <math>\text{cm}^2</math></p> <p>「小さな円の面積の合計」  <math>2 \times 2 \times 3.14 \times 9 = 113.04</math>                      答え 113.04 <math>\text{cm}^2</math></p>	

【授業改善の視点】  
 円周では「直径、円周、円周率」の関係、円の面積では「半径、面積、円周率」の関係について理解するために、どのような大きさの円についても、それらの関係を帰納的に見いだすことができるような活動を取り入れる。